

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

187号



2017年2月19日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 秀島一生氏の講演

昨年常盤台の「ギャラリー服部」での勉強会に招いた航空評論家の秀島氏が、各地で講演を行っており文京区では3月4日に行うそうです。板橋区でも企画があればお知らせします。

○ 陳情の審議の様子

1月24日区民環境委員会、26日都市建設委員会で区民から出されている国交省へ板橋区としての意見書提出についての陳情が審議されました。区としては教室型の説明会を求めているとの答弁でしたので、その実現を願いたいと思います。

また、意見書は全会派が賛成しないと出せないのだそうで、公明党がとりまとめに乗り出してくれたのですが、成功しませんでした。中野議員・成島議員有り難うございました。

人口密集地の都心を低空飛行で頻りに飛ばす、などという考えられないようなひどい計画でさえ、党派に縛られたり、人権より経済優先と本末転倒の価値観をもっているのか、意見書も出せないような議員たちなのではないでしょうか。

7月の都議選ではこの問題も争点の一つになるでしょう。

○ ゴーアラウンドの理由

先月、ゴーアラウンド（着陸やり直し）が3回あり、ある人が調べたところ、理由は、滑走路の落下物・横風・バードストライクだったそうです。それにしても今までは、やり直しも海上を使っていたのが、最近は陸上の住宅地でも構わずに飛ばしているのはなぜでしょうか。

○ ときわ台駅改修

すでに向かって左の東側の店舗が解体され、新しいビル工事が始まっています。この跡は5階建てで1・2階は店舗となるそうですが、何が入るかは解りません。

西側は今の店舗の所は駅側からのトイレとなり、エレベーターを設置します。

文化財的価値のある駅舎は、やや東寄りに引き屋されて保存されることになりました。願わくはぜひ以下のことに留意してほしいものです。

- ・できる限り建築当初の姿を復元する
- ・前面のタイルを大谷石にもどす
- ・室外機やパイプなどを外に出さない
- ・レール造りの柱を残す
- ・看板や広告で汚くしない
- ・ホームからの景観にも考慮する

○ 宇都宮美術館での「石の街」展

宇都宮美術館で3月5日まで「石の街うつのみや—大谷石をめぐる近代建築と地域文化」という企画が開催中です。2月26日にはシンポジウムも催されるので、ときわ台駅と兄弟の南宇都宮駅を見ながら行ってみませんか？

東武宇都宮線の南宇都宮に直接行くにはときわ台 10時14分—10時27分池袋（特急スーパーシアきぬがわ3号）—11時47分栃木—12時25分南宇都宮

が2時間ちょっとで行けるようです。

JR宇都宮（東武の宇都宮駅とは徒歩で30分バスで10分ほど離れています）に行くにはときわ台 9時14分—9時31分池袋（湘南新宿ライン快速）—10時6分大宮（新幹線やまびこ45号）—10時30分宇都宮

だと1時間16分ほどで行けます。

いずれも26日（日）の時刻です。

メジロの観察

冬の寒さの中で、小鳥たちはどう過ごしているのでしょうか。ベランダにミカンを輪切りにして置いてみました。

直ぐに見つけて来たのはメジロでした。よくウグイスが来ているという人がいますが、ほとんどメジロを間違えているのです。はつきり目の周りが白く縁取られているので直ぐ解りますが、何しろウグイスより驚らしい色をしているので、間違えるのもっともです。

スズメは嘴の都合か、趣味の問題か、ミカンには興味を示しません。メジロが喜んでいると邪魔するのはヒヨドリです。体格が段違いなのでメジロは追い払われてしまいます。ヒヨドリが余り人間に歓迎されないのは、声が悪いのと、糞が汚いからと、性格が悪いからでしょう。ヒヨドリが始終来るようになると、布団や手すりの上に糞と一緒にピラカンサの種などがごろごろするのです。

メジロは単独が多いのですが、たまに番い(らしき二羽)で来ます。必ず上下関係があり、上位の一羽が食べている間、もう一羽はおとなしく周りの枝で羽繕いなどしながら待っています。仲良く丸く羽をふくらませて寄り添い、片方に目や頭のまわりをつついてもらってうっとりしている様子は実に可愛いものです。

かと思うと二羽が取っ組み合いのけんかをしているのを見ました。ぱつと離れると一羽はミカンのそばから、一羽は片羽開いて倒れたまま睨み合うこと数分、その後はお互いにいつもの様子にもどりと、負けた方も怪我したわけではありませんでした。オス・メスの区別がつきませんが、多分勝つのはいつもメスだと思えます。

大丈夫なの？オリンピック騒ぎ(6)

* 不透明な会計と経緯

豊洲移転問題で、石原元都知事の責任が追及されているが、オリンピック誘致でも石原氏の関与は大きかったはず。都民の大部分は、福島復興もままならない時期(未だに被災地が復興したとはだれも認めないだろう)に、復興のためのオリンピックなら、と無理に納得させた部分もあったのだから、一部の企業や人間に利益が回るだけなら、オリンピック自体に嫌気がさしてしまいうだろう。酷暑の時期も変更されず、小池都知事の矛先も鈍ってくるのは、いかに既得権益がわの力が強いかを想像してしまおう。

いかに怪しい経緯であろうと、いかに計上金額が不適切であろうと、国民の税金を使う以上、今からでもガラス張りにして納得して貰わねばなるまい。

「女性のための災害対策ハンドブック」

東日本震災や神戸の震災などの緊急時に、避難施設のトップが男性ばかりであったことで、多くの女性がいやな思いを経験したことから、その反省から生まれたハンドブックだそうです。

板橋区立男女平等推進センター発行 無料

気がつかないことが幾つも提言されています。たとえば、入浴中に地震が来たら、とか、避難所で起きやすい問題とか、考えられますか？ 推進センターに連絡すれば無料でくれるそうです。利用しないのはもったいない！

常盤台公園のはなづくり

ストックは冬中咲いて良い香りを出してくれる有り難い花ですが、背が高く育つと、雨や雪の重み、風などの影響を受けて、倒れがちです。そこで、割り箸などを支柱にして無理に起こしています。

こぼれ種から出てくる白い花のデージーが咲き出しました。チューリップの芽も頭を出し、クリスマスローズはもうすぐ花盛り、蠟梅が上品に香っています。春はもうすぐそこに来ています。

今年、パンジーの配色が気に入らないのです。来年の課題です。どなたかアイデアがありましたらお知らせ下さい。植え方も工夫があっても良いですね。

のっぽのTさんは入退院を繰り返しながら、いつの間にか手入れをしてくれています。何もしないよりも、花が咲いてくる楽しみや、皆さんに喜んでもらえることが励みになっていいると思うので、遠回しに見守っています。

長老のTさんも、首や腰に痛みがあるSさんも、膝が曲がらないSさんも、みんな植物やこの公園が好きなので活動を続けていますが、そろそろ誰かにバトンタッチしたいのです。定年後のボランティア活動を何にしようかと迷っている人はいませんか？はなづくりの会はいつでも会員募集中です。